



人とともに 地域とともに
島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

島根大学 (島根県)



島根に根づく豊かな文化、四季折々の行事を通して日本が学べます

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

島根大学は法文学部、教育学部、人間科学部、医学部、総合理工学部、生物資源科学部、材料エネルギー学部から構成される、中規模総合大学です(2024年5月1日現在 教員数748名、学生数6208名)。

温かく人情豊かな雰囲気の中で行われる少人数教育が大学の特色の一つで、教員からは授業内外で、きめ細かい指導を受けることができます。そして、世界各国からの留学生や日本人学生と、活発な交流が行えます。

② 国際交流の実績 (2024年5月1日現在)

28ヵ国102機関と交流協定を結び、学生交流及び研究者交流を行っています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2024年：留学生数246人、日研生3人
2023年：留学生数247人、日研生3人
2022年：留学生数230人、日研生3人

④ 地域の特徴

松江市は、宍道湖、日本海、中国山地に囲まれた自然豊かな美しい地方都市であり、国際文化観光都市にも指定されています。国宝・松江城を中心とした城下町には、古くから茶道や和菓子の文化が栄えました。市内には神社や仏閣、史跡、温泉、代々続く老舗、各種文化施設など、楽しみながら勉強できるたくさんの場所が数多くあります。

他県と比べ、在住する外国人が少ないことも、留学生が島根で学ぶ利点となるでしょう。そのため地域の人々との交流の機会も多く、日本語、日本文化を学びたい人、学内外で日本人と積極的に交流したい人にとっては絶好の場所です。治安もよく、冬には時々雪が降りますが、年間を通して気候は穏やかで住みやすいといえます。



【王陵の丘でお花見】

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

本学の日本語・日本文化研修プログラムでは、下のa)、b)の2つのコースを用意しています。研修生はいずれか1つを選び、それぞれの必修単位を履修してプログラムを修了することが求められます。

- a)主に日本事情・日本文化に関する研修
- b)主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

少人数で行う必須の日本語・日本文化研修生向けの授業により、受講生の日本語レベルやニーズに応じて柔軟に指導内容を検討し、きめ細かい指導を行います。

③ 受入定員

6名(大使館推薦3名、大学推薦3名)

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・日本語能力試験N2レベル程度以上の日本語能力があること。
- ・勉学を最優先として全力で取り組み、修了論文を書き上げる強い意思とやり遂げる努力ができること。
- ・人間性に優れ、学内外の日本人、留学生と良好な関係を築ける力、諸活動に参加する積極性、コミュニケーション能力、協調性もあること。
- ・日研生としての自覚と、日本と母国の架け橋人材となる意志を持つ人物であること。

⑤ 達成目標

- 1)日本語能力試験N2またはN1に合格できるレベルの日本語力を身につけること(プログラム中の受験を推奨、支援します)。
- 2)自分自身の研究テーマを設定し、研究内容についてディスカッションでき、最終的に修了論文を書き上げること。

⑥ 研修期間(在籍期間)

研修期間：
2025年9月下旬～2026年8月下旬
(在籍期間：
2025年10月1日～2026年8月31日)

⑦ 奨学金支給期間

2025年10月～2026年8月



【黄泉の国入り口あります】

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日（例年は9月下旬）

10月： オリエンテーション

松江祭整行列、松江水燈路 見学

11月： 松江大茶会、八重垣神社 見学

12月： 茶道体験、生け花体験

1月： 正月料理実習

2月： 着物体験

4月： お花見会

5月： 田植え体験、蛸狩り

6月： 月照寺 見学

7月： 由志園（日本庭園）見学

8月： 水郷祭（湖上花火大会）、修了式

8月下旬：帰国（例年は8月中旬～下旬）

⑨ コースの修了要件

・各コース、必須授業（⑩表中の○）を含む、20単位以上を履修すること。

・修了者に対し、修了証明書、成績証明書を発行する。



【日研生による手作りの手すき和紙（右）を使った修了証書】

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

少人数で行うため、教員との関係が深く受講生のレベルやニーズに応じて柔軟に指導内容を検討し、きめ細かい指導を行います。地域の豊富な文化的資源、自然を活用する授業を行います。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

右の表の○印が各コースの必須科目。

※は両コースに共通の必須科目。

日本語総合A・・・日本語論、日本文化に関する多様な文章（エッセイ、新聞記事、講演録など）を目的に応じて読む。

日本語総合B・・・日本の歴史を通史的に学び、各時代の社会的、文化的背景について理解し各時代の主要な文学作品を通じて日本語の変遷も知る。

日本語総合C（特別演習）・・・地域に密着した伝統文化や神話、芸能、祭事、歴史的文化財などに関連する資料を生教材として、日本語および日本文化を学ぶ。

日本語総合D（特別研究）・・・各自がテーマを設定して個人研究を行い、ゼミ形式で指導を受け、論文の書き方の基礎を学び、成果を発表する。

II) 選択科目

右の表の△印が各コースの選択科目。

日本語A・・・作文クラス。論理的な文章を書くための表現、語彙を増やしなが、文章の構成や展開パターンを学ぶ。

日本語B・・・読解クラス。語彙力、文法力を高めながら、速読や精読を通じて目的に応じた読み方ができるよう訓練を行う。

日本語C・・・聴解、口頭表現クラス。発表のための調査、考察のスキルを養う。生の情報に接し、日本の社会に対する理解や知識も深める。

日本語D・・・語彙、文法クラス。トピック別の重要語彙やコロケーションを集中的に学ぶ。また、学習者が誤りやすい文法や表現を復習しながら、正確に使えるようになるまで文法力を磨く。

授業名	時間数 【単位数】		○必須 △選択		
	後期 <10月～ 3月>	前期 <4月～ 9月>	日本語 コース	日本 文化 コース	
必須※	日本語総合A	30【1】	30【1】	○	○
	日本語総合B	30【1】	30【1】	○	○
	日本語総合C	30【1】	—	○	○
	日本語総合D	—	60【2】	○	○
選択	日本語A	30【1】	30【1】	○	△
	日本語B	30【1】	30【1】	○	△
	日本語C	30【1】	30【1】	○	△
	日本語D	30【1】	30【1】	○	△
	日本事情A	30【2】	30【2】	△	○
	日本事情B	30【2】	30【2】	△	△
	異文化理解 入門A/B	30【2】	30【2】	△	○
その他 日本語・日本文化 に係る専門に 応じた科目	各30	各30	△	○	

コース修了要件：必須授業を含む20単位（600時間）以上の履修。 ※は全員必須科目。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

日本事情A・・・日常生活の中に見る日本の文化について知識を深め、その背景にある日本人の考え方や、価値観について理解を深める。

例) 八重垣神社、月照寺 見学

日本事情B・・・自然科学の視点から日本、島根県に対する理解を深めると同時に、伝統文化体験を行う。

例) 座禅体験、茶道体験、日本庭園見学

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

異文化理解入門A,B・・・異文化理解に関する様々なトピックにもとづいて小グループでディスカッションを行ったり、調査や発表を行ったりする。

⑪ 指導体制

日本語・日本事情担当教員ほか、学生の専門に応じて指導教員が、学業面の指導、生活面の支援を行います。



【出雲大社参拝見学】



【田植え体験】

■宿 舎

大学から徒歩10分圏内の場所に、留学生用宿舎「国際交流会館」および「学生寮」があります(料金や設備の詳細は右URLを参照)

☞<https://kokusai.shimane-u.ac.jp/kaigairyugakusei/japanese/#housing>

国際交流会館には、優しく時に厳しい「お母さん」のような管理者が勤務し、日本人チューターも住んでいます。研修生は、各国からの留学生との1年間の生活を通して友情を深めると同時に、異文化コミュニケーション能力も身につけることができます。一方、学生寮には日本人学生が多く住んでおり、独立した生活を楽しみながら日本人学生の友達を作ることができます。ただし、近年は留学生数が増加していることから、今後は必ずしも希望者全員が宿舎や寮に入れるという状況ではありません。規則にしたがって入居の優先順位を決めた結果、日研究生が入居できない可能性もあります。その場合は、近隣の民間アパートを斡旋します。なお、宿舎費を来日前に求めることはありません。



【国際交流会館】



【学生寮】

■修了生へのフォローアップ

日研究生のFacebook同窓会グループを通じて近況ニュースを流し、在学生と修了生が情報を交換したり共有したりできるようにしています。

修了後のキャリアパスの例：

- ・JETプログラムの国際交流員として県庁に勤務
- ・修了生母国の日本大使館に勤務
- ・母国にある日系企業に就職
- ・外国技能実習生の管理団体(東京)に就職
- ・島根大学大学院に進学(※近年増加中。留学中に進学したい大学院研究科を見つけ、帰国後半年程度準備をしたのち、再入学するケースが増えています。)



【伝統芸能「神楽」を学ぶ】

■問合せ先

<担当部署>

島根大学国際課留学生交流担当

TEL : +81-(0)852-32-6106 (直通)

FAX : +81-(0)852-32-6481

Email : ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp

<ウェブサイト>

島根大学：

<http://www.shimane-u.ac.jp>